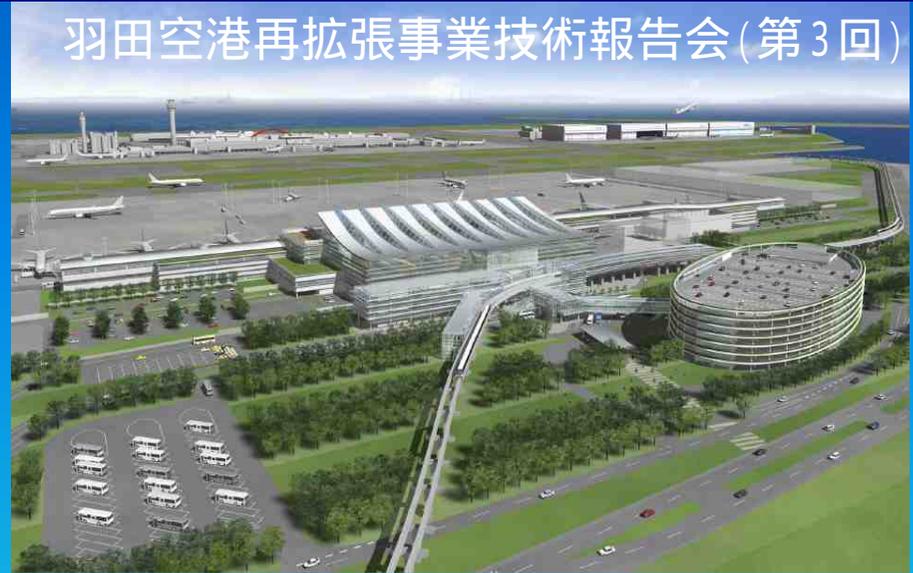


羽田再拡張事業の概要について



羽田空港再拡張事業技術報告会(第3回)



関東地方整備局
東京空港整備事務所

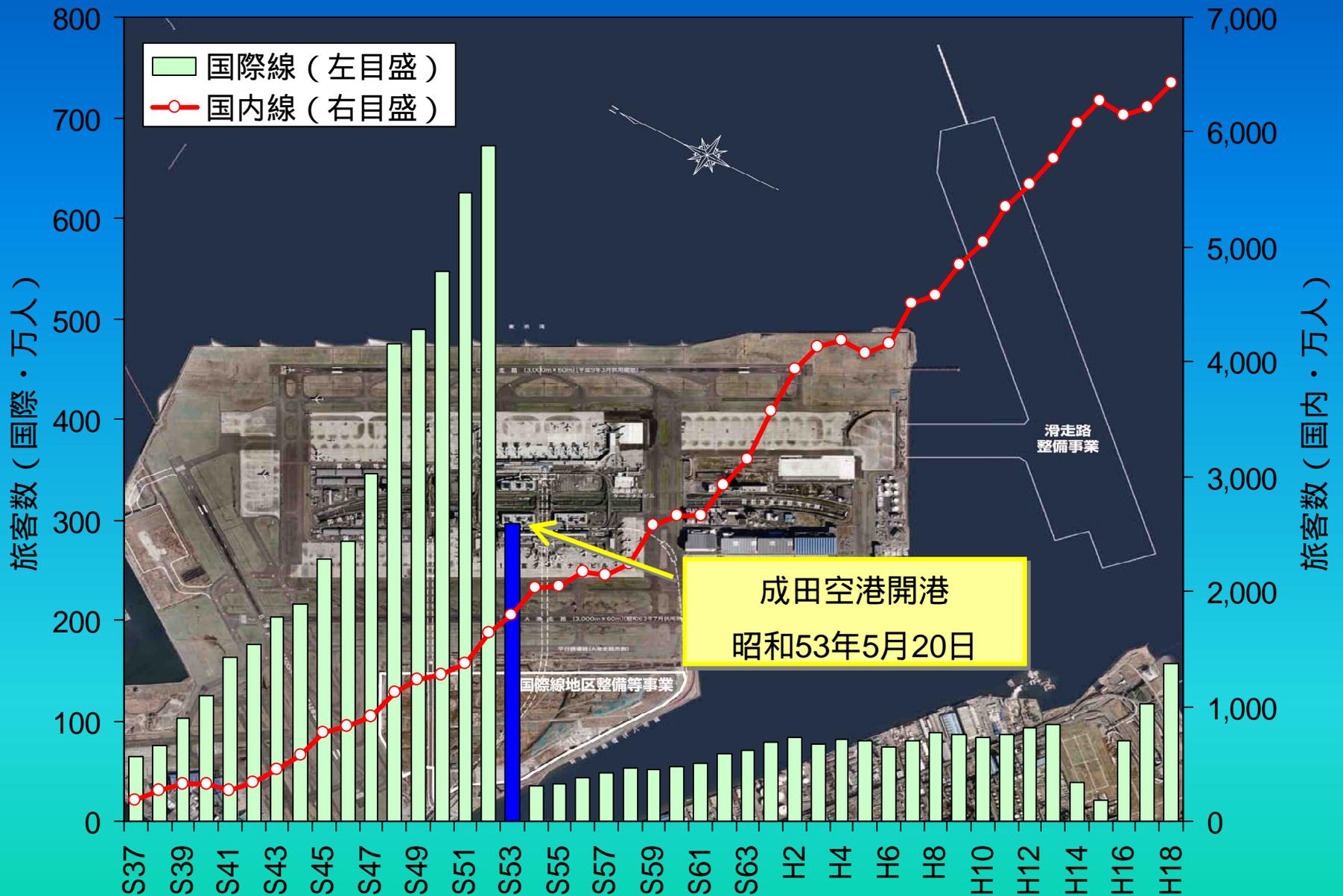
佐瀬 浩市

東京国際空港D滑走路外工事JV提供資料

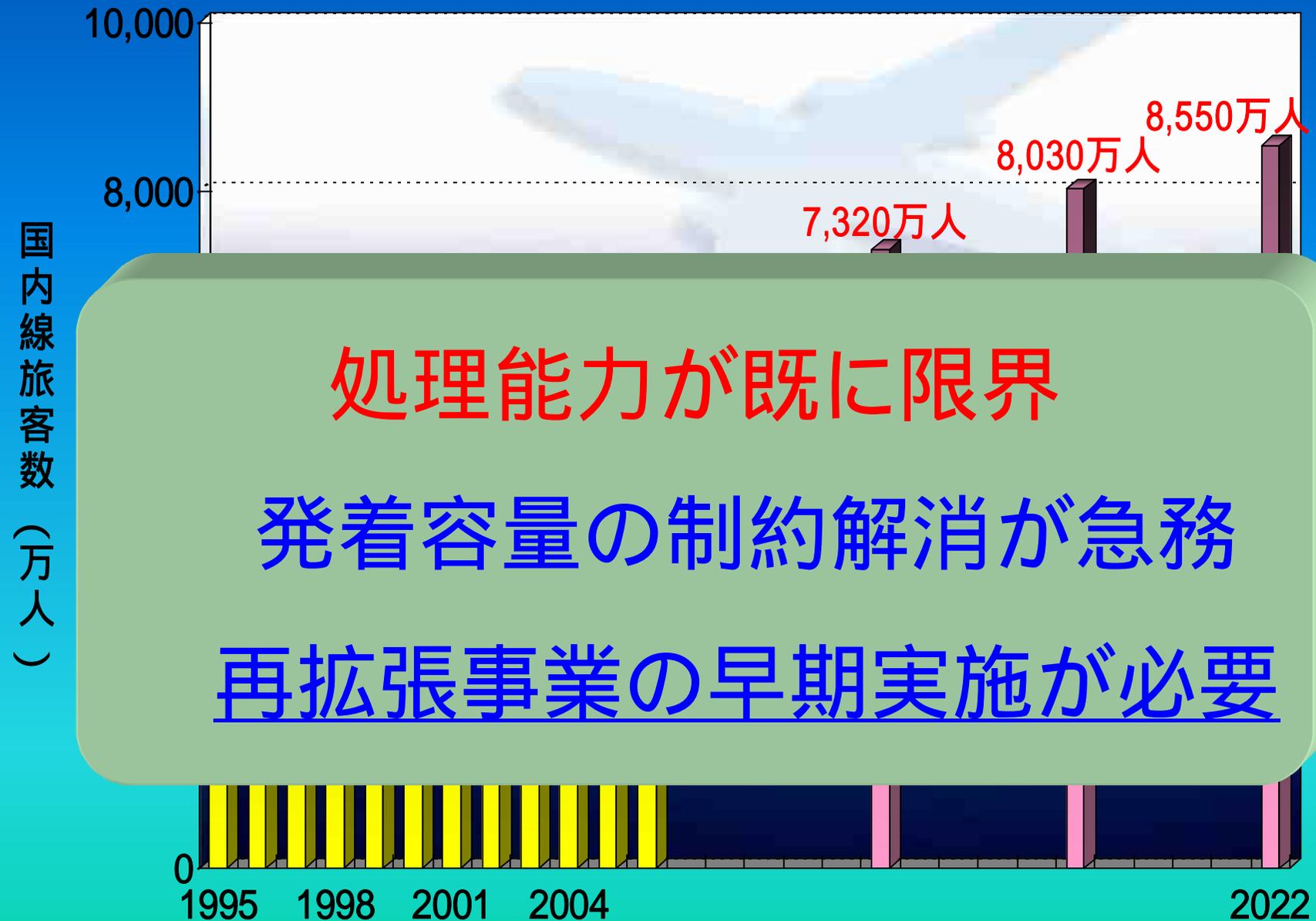


物流輸送の円滑性を追求した貨物上屋配置とトラック待機場

羽田空港における国内・国際旅客の推移（暦年）



再拡張事業の背景



羽田空港再拡張事業の構成

滑走路整備事業
【D滑走路】

国際線地区
整備事業



事業経過

H17.3 ~

【滑走路新設】

JVと契約

【環境アセス関係】

方法書

【関係者間調整】

漁業者調整

【国際線地区PFI】

旅客ターミナル
貨物ターミナル
エプロン等

H17.4 ~

実施設計

評価書

埋立出願

埋立承認

実施方針

契約締結

実施設計

H19.3.30 ~

D滑走路整備事業
現地着工
(H19.3.30)

エプロンPFI事業
現地着工
(H19.3.1)

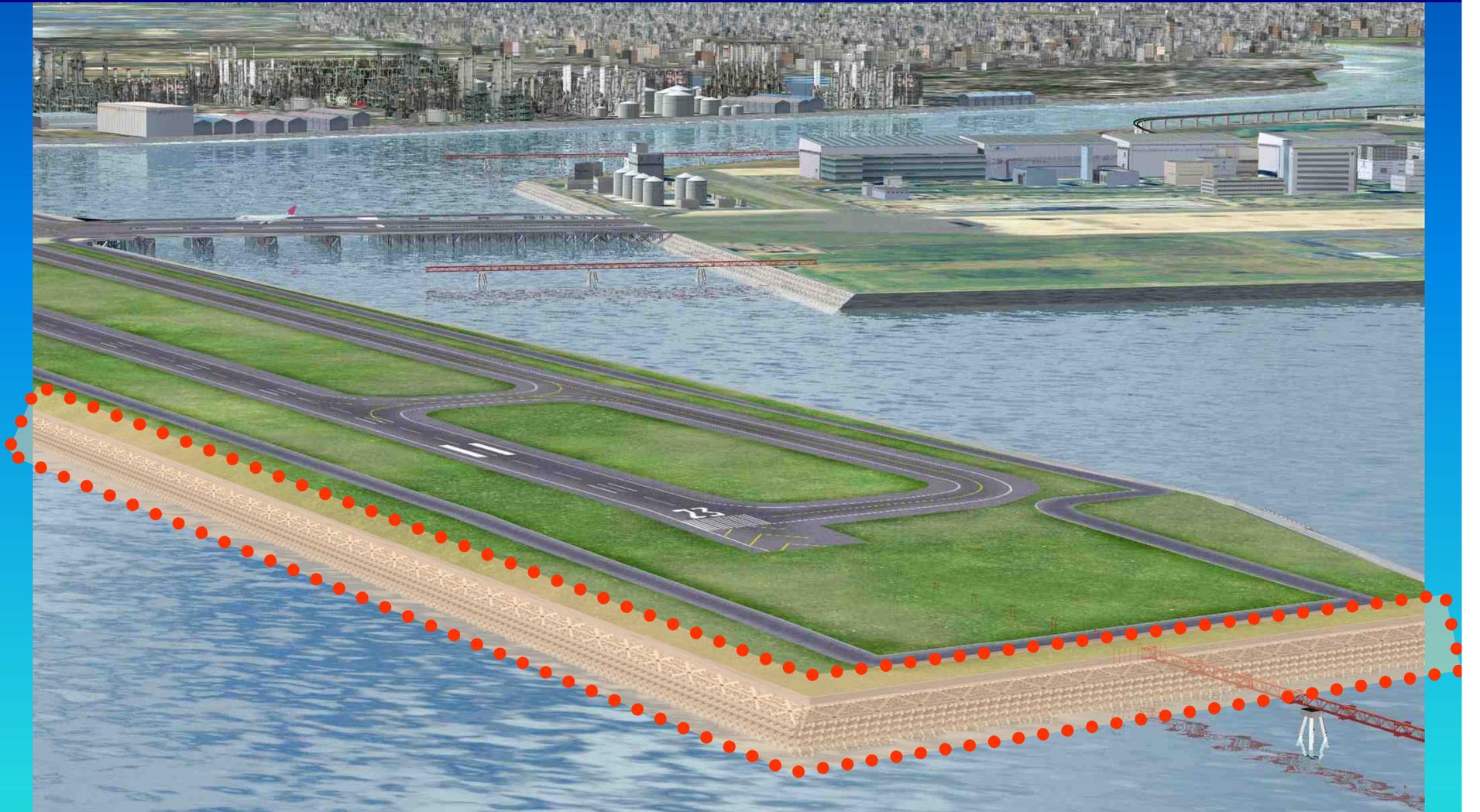
航空保安施設整備、フライトチェック、AIP

供用開始

《平成17
\ 18年度
》

《平成19
年度以降
》

埋立部



傾斜式捨石護岸

工事の概況（現況）



SCP船



Grab浚渫船



SM船



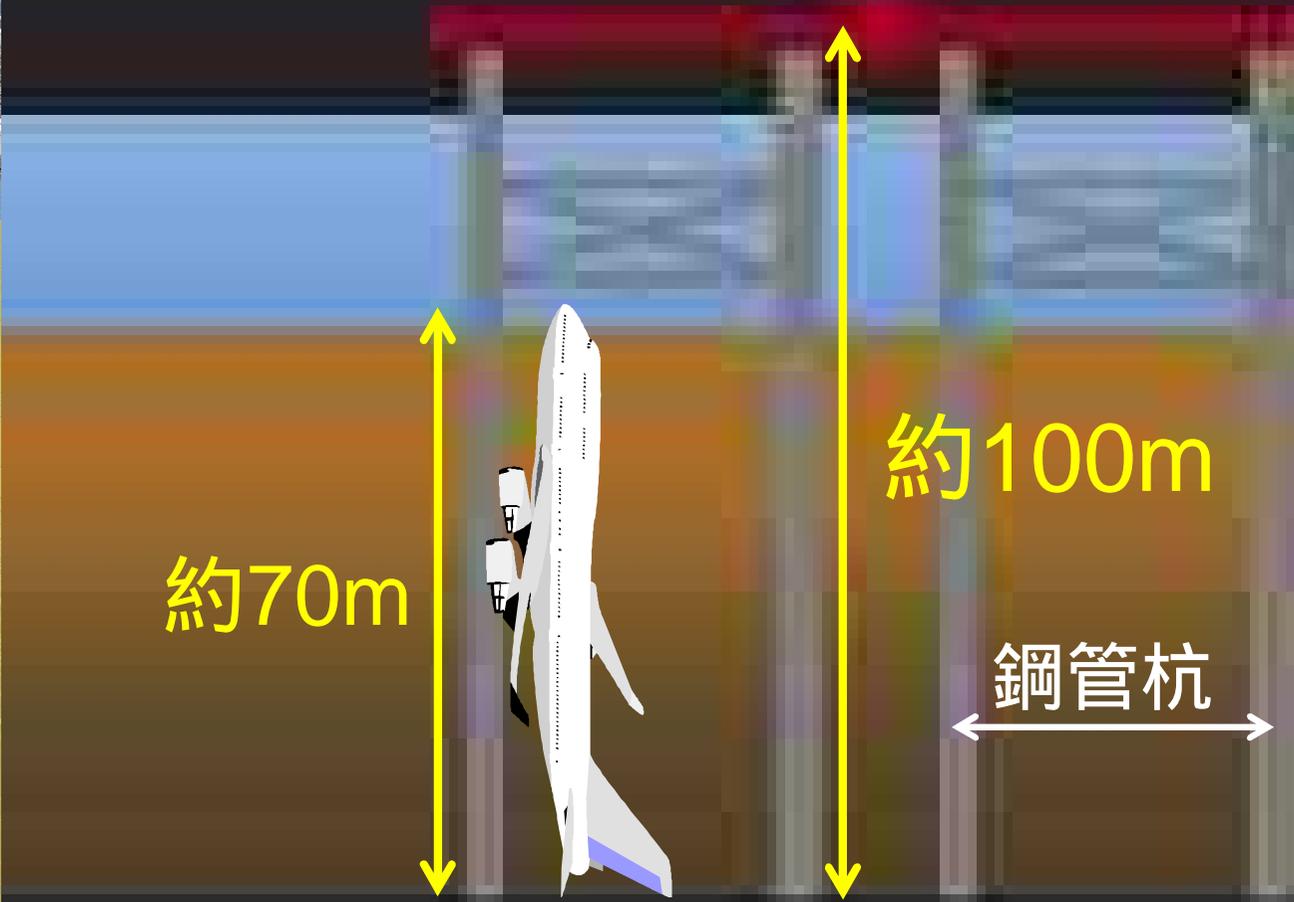
夜間工事

ジャケット・滑走路平行方向断面

約70m

約100m

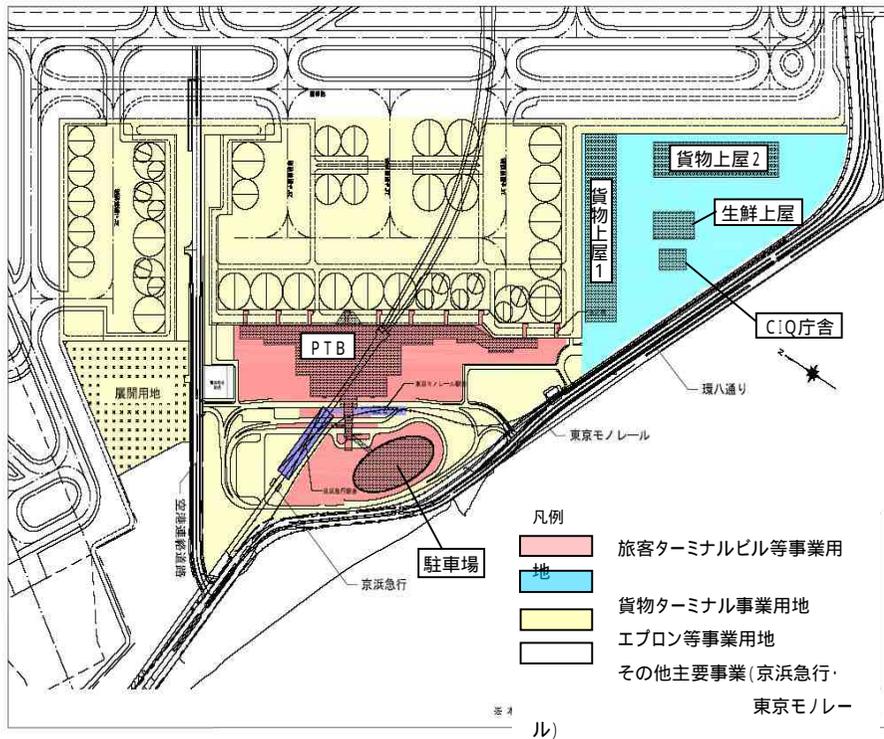
鋼管杭



国際線ターミナル、エプロン等の整備

PFI手法を活用した国際線地区の整備・運営

民間のノウハウを活用した効率的・効果的な施設整備
空港利用者に対するサービス水準の向上



旅客ターミナルビル等整備・運営事業
貨物ターミナル整備・運営事業
エプロン等整備等事業の3事業に区分

前提条件

昼間時間帯 (06:00 ~ 23:00)

・年間発着回数: 供用開始時に国際旅客定期便が概ね3万回程度

・年間旅客数 : 約700万人(参考 H18: 156万人)

・年間貨物量 : 約25万トン(参考 H18: 5,085トン)

・就航路線等 : 就航路線は近距離国際旅客定期便とし、羽田発着の国内線の距離を目安として考える。

深夜早朝時間帯 (23:00 ~ 06:00)

・騒音問題に配慮しつつ、供用開始時に国際旅客便及び国際貨物便を就航させる。

・飛行ルートは海上ルートとする。

・深夜貨物量 : 約25万トン

スケジュール

平成17年4月15日 実施方針の公表

平成17年6月29日 特定事業の選定

7月29日 事業者の公募(入札公告)

平成18年3月24日 エプロン等事業の事業契約締結

7月7日 旅客・貨物ターミナル事業の事業契約締結

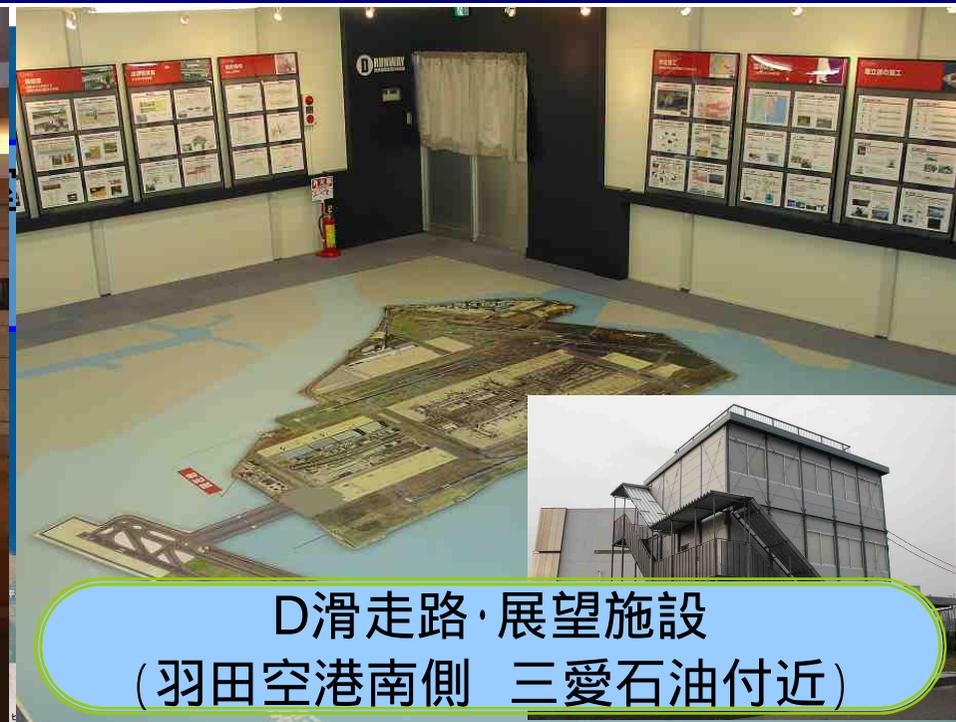
平成19年3月1日 エプロン等整備等事業 着工

(平成19年3月30日 D滑走路整備事業 着工)

是非、一度お立ち寄り下さい。



D滑走路・展示コーナー
(羽田空港第2ターミナル5階)



D滑走路・展望施設
(羽田空港南側 三愛石油付近)

引き続き御協力、御願ひ致します。



PFI展示室
(羽田空港西側 三愛石油栈橋付近)